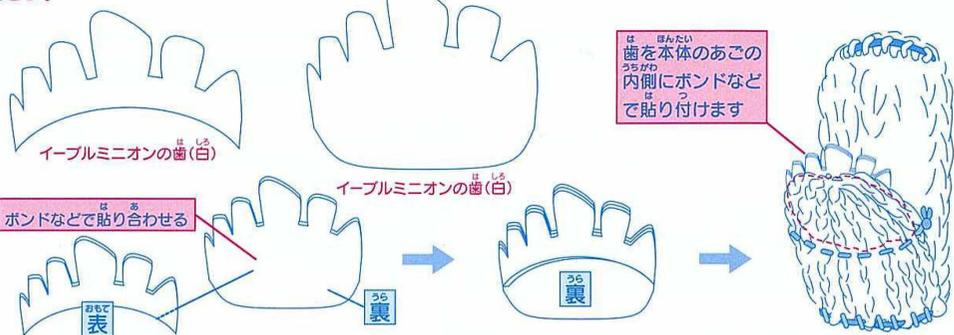


フェルトパーツ

イーブルミニオンあみぐるみマスコットで使用するフェルトパーツです。※手・足、目のパーツは(P14)を参照してください。この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分注意してください。



セット内容のフェルトパーツのつけ方

フェルトパーツをパッケージの写真を参考に貼り付けます。



あむあむたまご Q&A

- Q.うまく編めない。**
A.1ページ目の「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはいじめてください。
- Q.目が痛んでしまいます。**
A.毛糸を引っぱらないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪あみの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。
- Q.毛糸がテンションや針の中にからまってしまうシリンダーがまわらなくなりました。**
A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめては必ずしてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。
- Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。**
A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。
1ページ目の「毛糸をほぐしましょう」を読んでから編みはじめてください。
- Q.毛糸の結び目がテンションに通らず引っかかってしまった。**
A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページ目の「毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは…」をよく読んでください。
- Q.付属の毛糸以外で編めますか？**
A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。
- Q.あみぐるみ以外のものはできますか？**
A.できます。いろいろアレンジしてください。

シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

- きりかえダイヤルを平あみ(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まるとまわし続けたとき。
- 並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなって毛ハンドルをまわし続けたとき。

家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸:アクリル系100% 表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーでは子どもたちに安全で楽しいおもちゃや玩具を第一に考えております。そのため、常に製品に改良研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございます。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お買付きの商品がございましたら下記までご連絡ください。



発売元:株式会社タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

© TOMY

●たのしみタカラトミーの情報はインターネットで <http://www.takaratomy.com.jp>

DESPICABLE
MINION
MADE
ME

TM & © Universal Studios

対象年齢
3歳以上
6才以上

とあつかい説明書&あみぐるみなどのつくり方

この度は、タカラトミー「あむあむたまご ミニオン」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

※イラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。※セット内容の材料では、ケビン・スチュアート・ポブのあみぐるみマスコットが作れます。その他の材料は含まれておりませんのでご了承下さい。

警告(けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。



- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意(ちゅうい)

- 毛糸を首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけしないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪、毛や衣服などをはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

＜使用上のお願い＞ ○ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないよう注意してください。○はさみを使うときは十分注意してください。○プラスチック袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

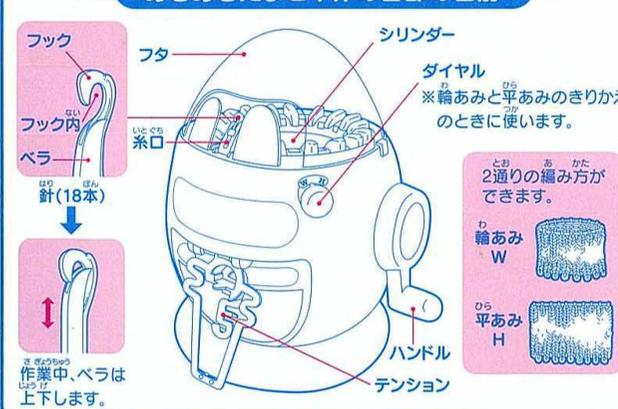
目次

- 編みはじめる前の準備……………P1
- 輪あみの編み方……………P2
- 編み終わったら……………P2
- 輪あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方P3
- 平あみの編み方……………P4
- 平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方P5
- ミニオンあみぐるみマスコットのつくり方……………P5
- ミニオンニット帽のつくり方……………P11
- ミニオン小物入れのつくり方……………P13
- フェルトパーツ……………P14

セット内容

- 本体……………1コ
- テンション……………1コ
- 毛糸針……………1本
- 毛糸(黄色・青色)……………各1コ
- 綿……………1コ
- フェルト(黒・白・黄色・茶色・緑・青色)……………各1枚
- 取り扱い説明書(本書)……………1冊

あむあむたまご本体の各部の名前



フタのはずし方

フタを左(反時計回り)にまわし、もちあげてはずします。(セットするときは逆の手順で行ってください。)



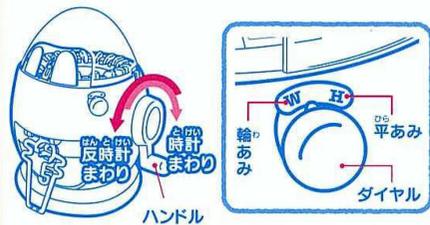
テンションのつけ方

図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。



※セット内容の毛糸は「ミニオンのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用は他家にある毛糸で行いましょう。

本体を平らなテーブルなどの上におきます。



毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐして入れましょう。



油性ペンで印をつけよう

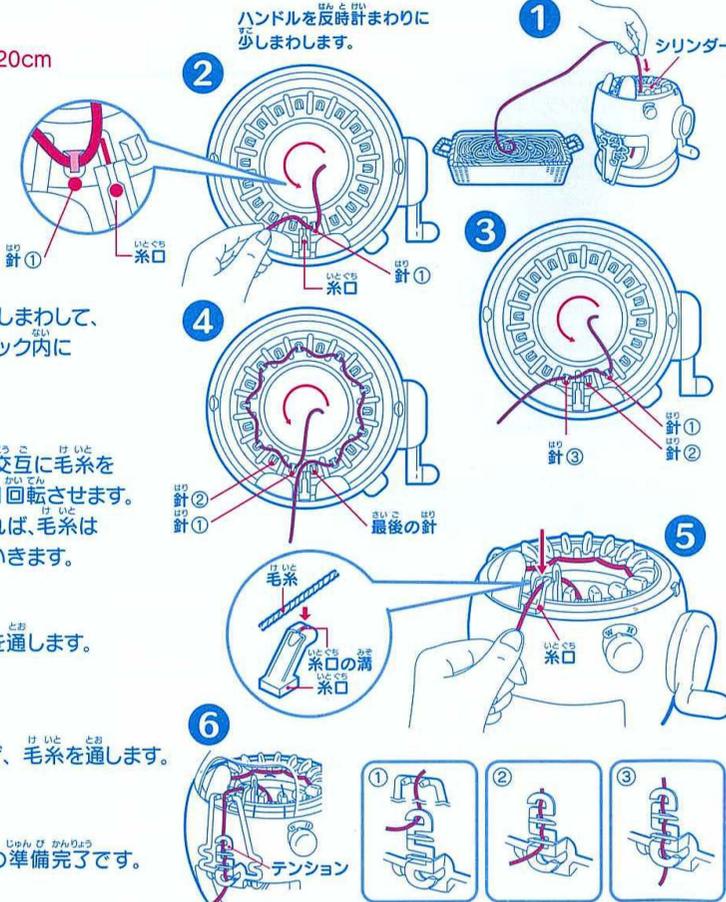
- ①ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどきましょう。

毛糸をセットしましょう

- ①毛糸の先を図のように、約20cmくらい中へたらしめます。
- ②針に毛糸をかけます。糸口の左側にある針①のフック内にかかけます。
- ③ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
- ④このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっている場合は、毛糸は最後の針の後ろを通過していきます。
- ⑤糸口の溝に、上から毛糸を通します。
- ⑥テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
- ⑦フタをセットして、輪あみの準備完了です。



輪あみの仕上げ

編み地の直径約6cm 長さは自由



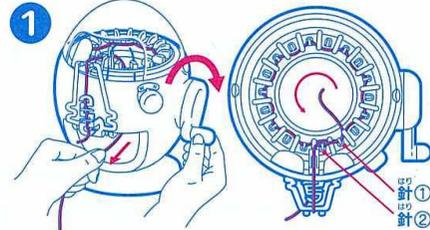
- ①ハンドルをまわして編んでいきます。輪あみのときはいつも、時計まわりにまわしてください。最初の2周は中にたらしめた毛糸を軽く引っばって、ハンドルをまわしてください。

注意：ハンドルは乱暴にまわさないでください。
 ・ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。
 ・本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。
 ・ハンドルを戻したり反時計まわりにまわさないでください。

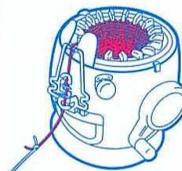
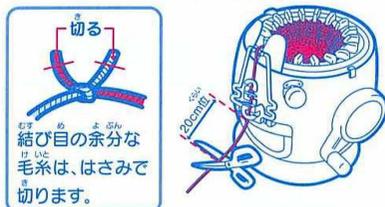
- ②編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる...など。)



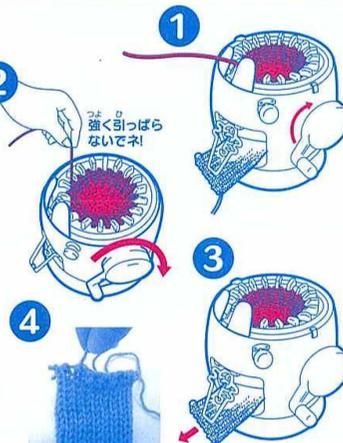
毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは...



図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

編み終わったら

- ①テンション・糸口から毛糸ははずします。
- ②毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。
- ③編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそっと取り出します。編み目がほどけないように、注意しましょう。
- ④編み終わりの毛糸をちょうど1段(1周分)ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあったら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



輪あみの編み終りのしまつの仕方

★注意：編み終りの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終りの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱり、1段(1周)ほどいってください。
※毛糸をはさみで切るの、1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。

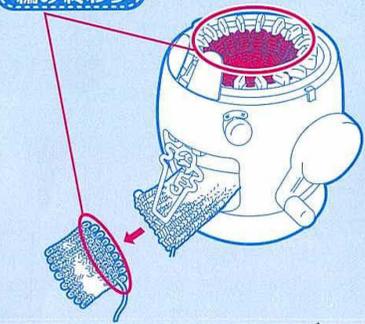


針に毛糸を通しやすくするために…

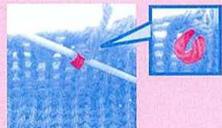
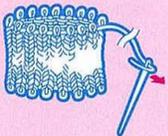
セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。
通したらセロハンテープははずしましょう。



編み終り



- ① 残り糸に毛糸針を通します。
- ② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。
- ③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合



しぼらない場合



- ① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。
- ② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- ③ 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



<残った毛糸をかくす場合>

- ④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。
- ⑤ 内側から通した毛糸を引っぱります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



- ① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



- ② 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



輪あみの編みはじめのしまつの仕方

★注意：編み地に1周通す必要はありません。

しぼる場合

- ① 残った毛糸をゆっくりと引っぱり、穴をふさぎます。
- ② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- ③ 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。

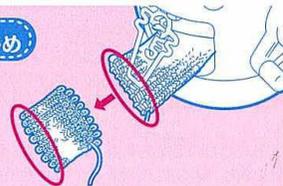


<残った毛糸をかくす場合>

- ④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。
- ⑤ 内側から通した毛糸を引っぱります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



編みはじめ



しぼらない場合

- ① 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- ② 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



平あみの編み方

平あみの仕上げ

編み地の幅約10cm 長さは自由

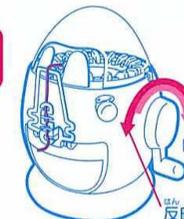


- ① フタをはずして、ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ② ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。



★注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がありますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

- ③ 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、毛糸をセットしましょう(P1)の手順を見てセットしましょう。(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)
- ④ 平あみはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。
※1列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っぱり編みましょう。



この毛糸を引き抜いてください。

★注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- ⑤ 編み終わったらダイヤルを輪あみ(W)に合わせて、編み地をとりはずします。
編み終わったら(P2)と同じ方法ではずしてね。



平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意・編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通して、輪のようになっていないように注意しましょう。

② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。

③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。

平あみの編みはじめのしまつの仕方

① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。

② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。

③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。

平あみで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながらとじていきます。

② 毛糸がつかないように引っ張り絞ります。

ミニオンあみぐるみマスコットの作り方

※セット内容の材料ではケビン・スチュアート・ポプをつくることができます。

用意する物

- ☆セット内 …… ●毛糸 ●フェルト(黒目・白目・ゴグル・口・手・足・髪・グルーマーク) ●毛糸針 ●綿
- ☆その他 …… ●ボンド ●はさみ

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。

くわしい説明は油性ペンで印をつけよう(P1)を読んでください。

※セットした毛糸は段数に合いません。

後処理をしやすくするために

編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、つくり方に書かれている段数は1段多くになっています。各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。※編みはじめは約20cmを本体中央にたらしってください。

ケビン本体の作り方

本体 (黄色の毛糸/輪あみ)

- ① 本体をつくります。ダイヤルを輪あみにして黄色の毛糸で26段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき「輪あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P3)で輪になっている編み目に1周糸を通します。残り糸はしばらく残します。(P6/図1)
- ③ 編みはじめ・編み終わりの残り糸を少しづつ引っばって、四角い編み地になるように整えます。糸は結ばず残します。(P6/図2)
- ④ 編みはじめは「★とじ方」(P6)の図を見ながら、残り糸で口を閉じます。残り糸は結ばず残します。(P6/図3)

- ⑤ 本体に綿を詰めます。最初に少量の綿を両角にしっかり詰めます。(図4)
- ⑥ 本体の高さが約11cmになるように綿を詰めたら、とじ口が約3.5cmになるようにしぼります。「★とじ方」の方法でとじます。残り糸は結ばず残します。(図5)
- ⑦ 編みはじめ、編み終わりの糸は、それぞれ、とじ口が約3.5cmになるように引っばり、角を丸くします。糸は結んで中に入れます。(図6)
- ⑧ 最後に、本体の形をセット内の毛糸針で綿を移動させて、胸を円柱型になるよう整えます。(図7)

① 編み終わりの糸 (図1) 引っばる

※結ばない残す

② 四角い編み地を整えます。(図2)

③ ★とじ方 (図3)

④ 長さ約11cmになるように綿を詰めます。(図4)

はじめに両角にしっかり綿を詰める

⑤ 約3.5cmにしぼり「★とじ方」の方法で口をとじます。(図5)

⑥ とじ口が約3.5cmになるように残り糸を引っばって両角を丸くする。(図6)

⑦ 針で綿を整える (図7)

ケビンのズボンの作り方

胸当て部分 (青色の毛糸/平あみ)

- ① スポンは胸当て用の編み地を本体に縫い付け、その上から、パンツ部分の編み地をはかせ、縫い付けます。まず胸当て部分をつくります。ダイヤルを平あみにセットして青色の毛糸で10段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わりのしまつの仕方①」(P5)で残り糸を輪になっている編み目に通します。残り糸は結ばず残します。(図1-1)
- ③ 編みはじめと編み終わりの残り糸を少しづつ引っばって約幅4cm長さ9.5cmの四角の編み地になるよう整えます。残り糸は結ばず残します。(図1-2)

胸当て

※結ばない残す

編み終わりの糸

約9.5cm

約4cm

四角の編み地を整えます (図1-2)

編みはじめの糸

※結ばない残す (図1-1)

パンツ部分 (青色の毛糸/輪あみ)

- ④ 次にパンツ部分をつくります。ダイヤルを輪あみにセットして、青色の毛糸で7段編みます。
- ⑤ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「輪あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P3)で残り糸を輪になっている編み目に通します。残り糸は結ばず残します。編みはじめの残り糸も結ばず、残します。(図2)

パンツ

編み終わりの糸

※結ばない残す

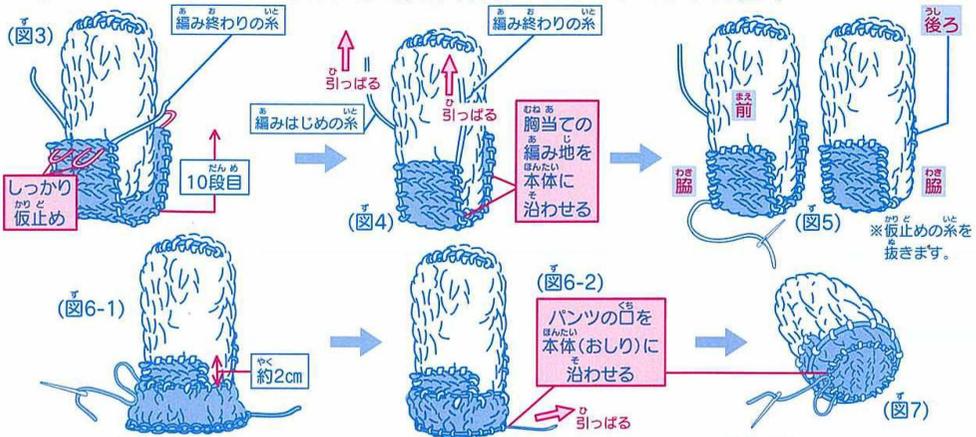
編みはじめの糸

※結ばない残す (図2)

本体にズボンをはかせます

⑥ まず本体に胸当て用の編み地を縫い付けます。本体のおしりの閉じ口から前後それぞれ10段目に胸当て用編み地の両端をそれぞれ幅を約4cmに広げながら、別の糸でしっかり仮止めします。(図3)

- ⑦ 縫い付ける前に、胸当て用編み地が本体に沿うように2本の残り糸を少しづつ引っぱります。(図4)
- ⑧ 残り糸を使って前→脇、もう1本の残り糸に変え、後ろ→脇の順に縫い付けます。残り糸は結んで中に入れます。(図5)
- ⑨ 次にパンツ部分を縫い付けます。本体前後に縫い付けた胸当ての端から約2cm下にパンツの編み地の口を合わせ、編み地の残り糸で本体に1周縫い付けます。(図6-1)
- ⑩ パンツのもう一方の口の残り糸を少しづつ引っぱり、口の大きさを直径約3.5cmになるようにしぼり、本体に沿わせま。す。(図6-2) しぼった口を残り糸で本体に縫い付けます。残り糸は結んで中へ入れます。(図7)



ズボンの肩ひもをつくりま

肩ひも 青色の毛糸/くさりあみ

※最後に胸にグルーマークのフェルトを貼ります。

くさりあみのつくり方

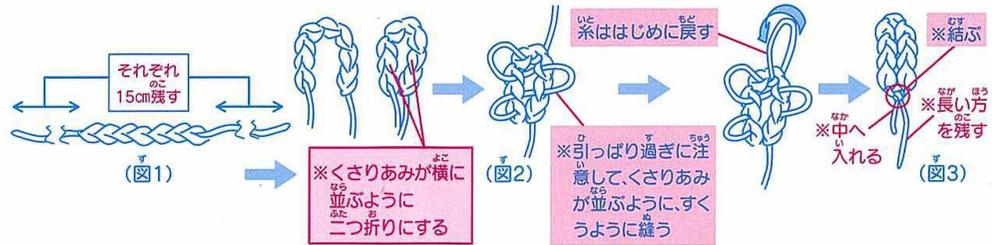


- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで13目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② 左右の胸当ての角に肩ひもを縫い付けます。(図2)

手・足のつくり方

※毛糸の色はそれぞれの本体の色と同じです。くさりあみでつくりま。

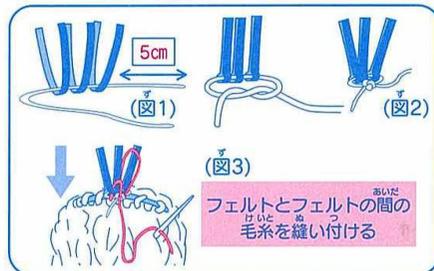
- ① 手をつくりま。毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで22目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(P8/図1)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせま。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻しま。(P8/図2)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残しま。(P8/図3) 同じものを2本つくりま。
- ④ 足のつくり方は手と同じです。毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで10目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残し



- て切りま。(図1) 足も2本つくりま。
- ⑥ くさりあみでつくれた手と足は付属の手と足のフェルトではさむように付けま。(図4)
- ※付きにくい場合はボンドを使いま。
- ⑦ 手足はパッケージの写真を見ながら本体に縫い付けま。
- ※手は側面の中心より少し前よりに縫い付けま。

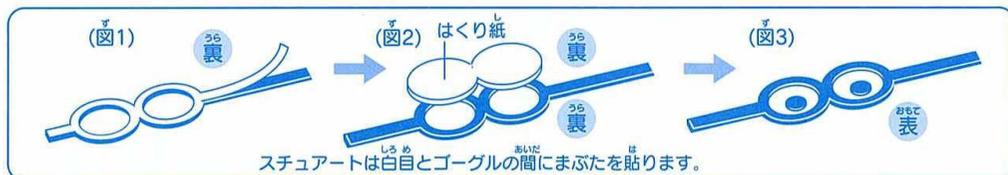
ケビンの髪の毛のつけ方

- ① 黄色の毛糸25cmを用意しま。毛糸の端から5cmのところからセット内の黒のフェルトの中のケビンの髪(3本)をすき間を開けず並べてはさみま。(図1)
- ② はさんだ毛糸の両端をしっかりと結びま。(図2)
- ③ 長い方の糸を使って、結んだ毛糸の輪を頭のてっぺんに縫い付けま。残り糸は結んで中に入れます。(図3)



ケビンのゴーグルのつけ方

- ① セット内のフェルトのケビンのゴーグル・白目・黒目を用意しま。まず、ゴーグルのはくり紙をはがしま。(図1)
- ② ゴーグルの裏に白目(はくり紙は、はがさない)を貼りま。(図2) ③ 表に返して、黒目を貼りま。(図3)
- ④ 白目のはくり紙をはがし、本体の頭を1周するように貼りま。



スチュアート・ポプ・イーブルミニオンのつくり方

● それぞれのサイズに合わせて編む段数などが異なります。下記の表を参考にしてくださ。

	スチュアート	ポプ	糸	あみ	イーブルミニオン	糸	あみ
本体	22段(高さ約9cm)	17段(高さ約7.5cm)	黄色	輪あみ	ケビンと同じ	むらさき	
ズボン(胸当て)	10段	10段	青色	平あみ	12段	黒	ミニオンと同じ
ズボン(パンツ)	7段	7段	青色	輪あみ	なし		
手の長さ	20目を二つ折り(3.5cm)	20目を二つ折り(3.5cm)	黄色	くさりあみ	35目を二つ折り(6cm)	むらさき	
足の長さ	10目を二つ折り(1.5cm)	10目を二つ折り(1.5cm)	黄色	くさりあみ	10目を二つ折り(1.5cm)	むらさき	

※ズボンの肩ひもは全員ケビンと同様です。(P7) ※手の長さ、足の長さのくさりあみ()内の長さは二つ折りにしたときの目安の長さです。

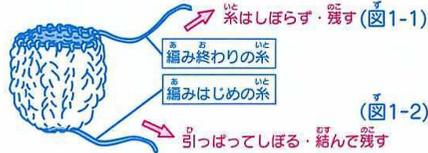
イーブルミニオン本体のつくり方

本体 (紫色の毛糸/輪あみ)

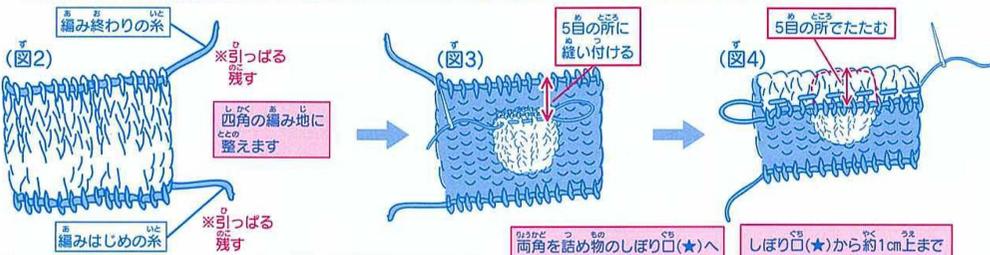
① イーブルミニオンの本体と手足は、ケビンと同じです。ケビンの本体のつくり方 (P5～) を参考にしてください。

あご/あごの詰め物 (紫色の毛糸/輪あみ/平あみ)

- ① まずあごの詰め物をつくります。ダイヤルを輪あみにして紫色の毛糸で8段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき「輪あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P3) で輪になっている編み目に1周糸を通し、しぼる場合の方法①～⑥の方法でしまつします。残り糸はしぼらず、残します。(図1-1)
- ③ 編みはじめの糸は「しぼる場合①～⑥」(P4)の方法でしまつします。残り糸は結んで残します。(図1-2)
- ④ 次にあごの編み地をつくります。ダイヤルを平あみにして紫色の毛糸で21段編みます。
- ⑤ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P5) で輪になっている編み目に1周糸を通します。残り糸はしぼらず残します。
- ⑥ 編みはじめ・編み終わりの残り糸を少しずつ引っぱって、四角い編み地 (幅約10cm長さ8cm) に整えます。糸は結ばず残します。(図2)
- ⑦ 四角い編み地の裏の中央の上から5目のところにあごの詰め物のしぼってない口を重ね、詰め物の残り糸で縫い付けます。糸は結んで中へ入れます。(図3)
- ⑧ 詰め物を縫い付けた5目の所をたみ、編み終わりの糸で引っぱり過ぎないように縫い付けます。(図4)
- ⑨ 両角を詰め物のしぼり口(★)へ向かってたたみ (図5) 詰め物の残り糸で、しぼり口から約1cm上まで縫い合わせます。その時、両角は、詰め物に縫い付けるように縫い合わせます。糸は結んで中へ入れます。(図6)

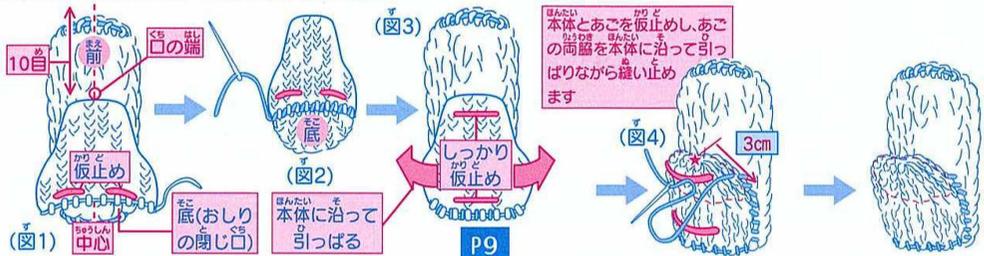


(図1-2)



イーブルミニオン本体にあごを取り付けます

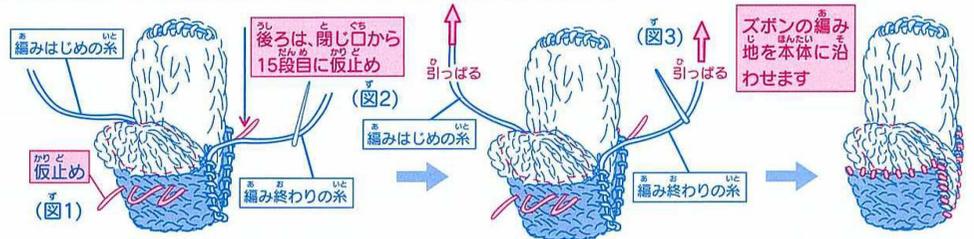
- ① 本体の正面の中心とあごの編み地の中心を重ね (頭のとじ口から10目と口の端を合わせる) 仮止めします。(図1)
- ② 本体の底にあごの編み地を残り糸で縫い付けます。糸は結んで中に入れます。(図2)
- ③ 縫い付けたあごを本体と重ねて、しっかり仮止めします。(図3) あごの両脇を本体に沿って引っぱりながら別の糸であごの上の端から3cm下まで縫い付けます。糸は結んで中へ入れます。(図4)
- ④ できあがったあごの形・大きさなどを整えます。



イーブルミニオンのスポンをつくります

スポン (黒色の毛糸/平あみ)

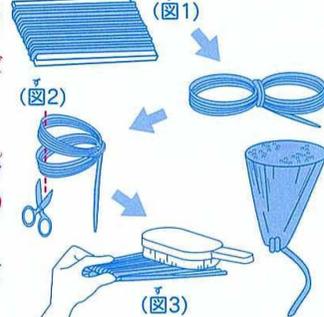
- ④ スポンをつくります。イーブルミニオンのスポンはケビンの胸当て (P6) と同じつくり方です。ダイヤルを平あみにして黒色の毛糸で12段編みます。
- ⑤ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わりのしまつの仕方①」(P5) で残り糸を輪になっている編み目に通します。残り糸は結ばず残します。
- ⑥ 編みはじめ・編み終わりの残り糸を少しずつ引っぱって、四角い編み地になるように整えます。糸は結ばず残します。
- ⑦ スポンのはかせ方は、ケビンの胸当ての縫い付け方 (P7) と同じです。スポンの編み地の端をあごのふくらみに沿って仮止めします。(図1) もう一方の端は本体の頭の閉じ口から15目のところ (後ろ) に仮止めします。(図2)
- ⑧ 縫い付ける前に、胸当て用編み地が本体に沿うように2本の残り糸を少しずつ引っぱります。(図3)
- ⑨ 残り糸で本体に縫い付けます。糸は、結んで中へ入れます。
- ⑩ スポンの肩ひも (黒色の毛糸) はケビン (P7) を参考に、取り付けます。



イーブルミニオンの髪をつくり方

髪の毛 (紫色の毛糸)

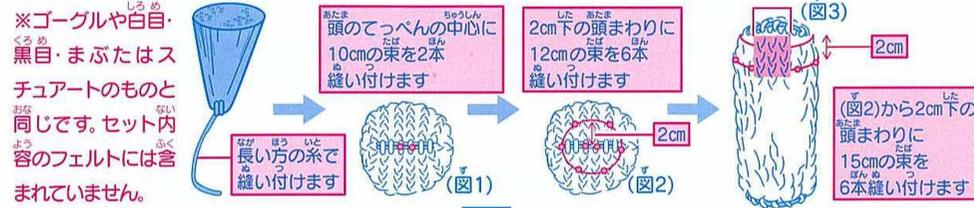
- ⑩ 髪は紫色の毛糸の束をつくり、ヘアブラシなどでひっかいて毛糸のよりをほどきます。
- ⑪ 厚紙などで10cm・12cm・15cmの毛糸を巻く台紙をつくっておきます。(図1)
- ⑫ 紫色の毛糸を10cmの台紙に10回巻き、中心を結んで束にします。輪の部分切り取ります。(図2) 同じ束をもう1本つくります。同じ方法で12cmの台紙に10回巻いた束6本、15cmの台紙に10回巻いた束6本つくります。
- ⑬ 次に毛糸の中央 (束ねたところ) で二つ折りにして、ブラシなどでひっかいてよりをほどきます。用意した14本を同じようにほどきます。(図3)



イーブルミニオンの髪を縫い付けます

⑭ 頭のてっぺんに10cm (二つ折りで5cm) の束2本を縫い付けます(図1)

- ⑮ てっぺんから2cm下の頭のまわりに髪の毛12cm (二つ折りで6cm) の束を均等に1周するように6本縫い付けます。(図2)
- ⑯ ⑮から2cm下の頭のまわりに15cm (二つ折りで7.5cm) の束を6本縫い付けます。(図3)
※ 正面は目を付けるので中心の編み目、3目には縫い付けません。
- ⑰ 髪の毛を縫い付けたらフェルトパーツ (P14) から手・足・ゴーグル・白目・黒目・まぶた・エルマッショマークを、(P15) から歯をつくり貼り付けます。(パッケージの写真を参考にしてください。)



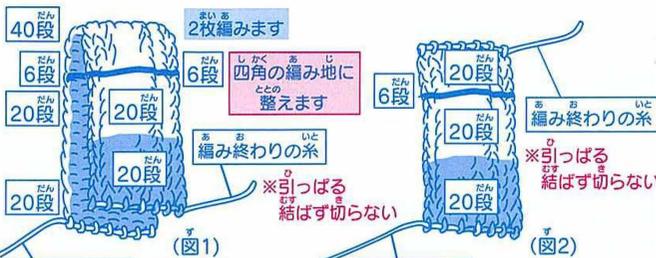
用意する物

- 毛糸(黄色・青色・黒) ●フェルト(黒) ●毛糸針 ●うすいスポンジや厚紙など ☆その他…●ボンド ●はさみ

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

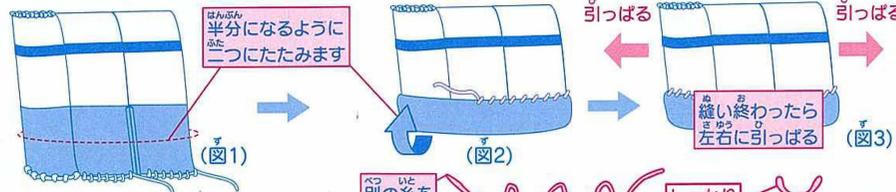
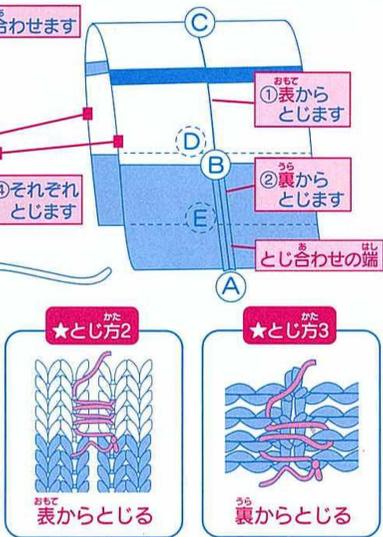
ニット帽本体の作り方

- ① ニット帽は平あみの編み地を2枚半を縫い合わせて作ります。まずダイヤルを平あみにセットして、青色20段→黄色20段→黒6段→黄色40段→黒6段→黄色20段→青色21段、編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わりのしまつの仕方①」(P5)を参考に残り糸を輪になっている編み目に通します。残り糸は結ばず残します。(図1)同じものをもう1枚編みます。
- ③ ダイヤルを平あみにセットして、青色20段→黄色20段→黒6段→黄色21段、編みます。
- ④ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わりのしまつの仕方①」(P5)を参考に残り糸を輪になっている編み目に通します。残り糸は結ばず残します。(図2)
- ⑤ ②・④でつくった編み地の編みはじめ・編み終わりの糸をすこずつ引っぱって四角い編み地に整えます。



ニット帽を組み立てます

- ① 3枚の編み地を同じ方の図を見ながらとじ合わせてニット帽を作ります。まず、長い編み地2枚の③～⑤を「★とじ方2」の方法で別の糸でとじます。裏にとじ合わせの端が出ます。
- ② 次に裏返してA～③、⑤～⑥までを「★とじ方3」でとじ合わせます。表にとじ合わせの端が出ます。
- ③ 次に短い編み地を縦に二つ折りにして黄色の残り糸で「★とじ方」(P6)の方法でとじ合わせます。
- ④ 二つ折りにした長い編み地と③の編み地を「★とじ方」(P6)と「★とじ方2」(右図)の方法でとじ合わせます。黄色の部分は表から、青色の部分は裏からとじ合わせます。
- ⑤ 二つ折りにしたもう一方も④と同じくとじ合わせます。
- 裏側の横糸を1段づつすくいながらとじます。○とじ糸が見えないように糸を引きながら閉じます。(引っぱりすぎない)※「★とじ方2」は編み地の表から、「★とじ方3」は裏からとじます。
- ⑥ 青色の編み地を半分になるように外側にたたみます。(P12/図1)
- ⑦ 本体にたたんだ編み地のふちを別の糸で、引っぱりすぎないように、縫い付けます。(P12/図2) 縫い付け終わったら、ニット帽を一度、両手で左右に引っぱり、ニット帽が伸び縮みするように縫い付けた糸に余裕を持たせてから残り糸を結び中へ入れます。(P12/図3)
- ⑧ ニット帽の両角の間に別の糸をまっすぐ通します。(P12/図4)
- ⑨ 通した毛糸で本体をしぼり、両端をしっかり結びます。残った毛糸は中に縫い込みます。(P12/図5)

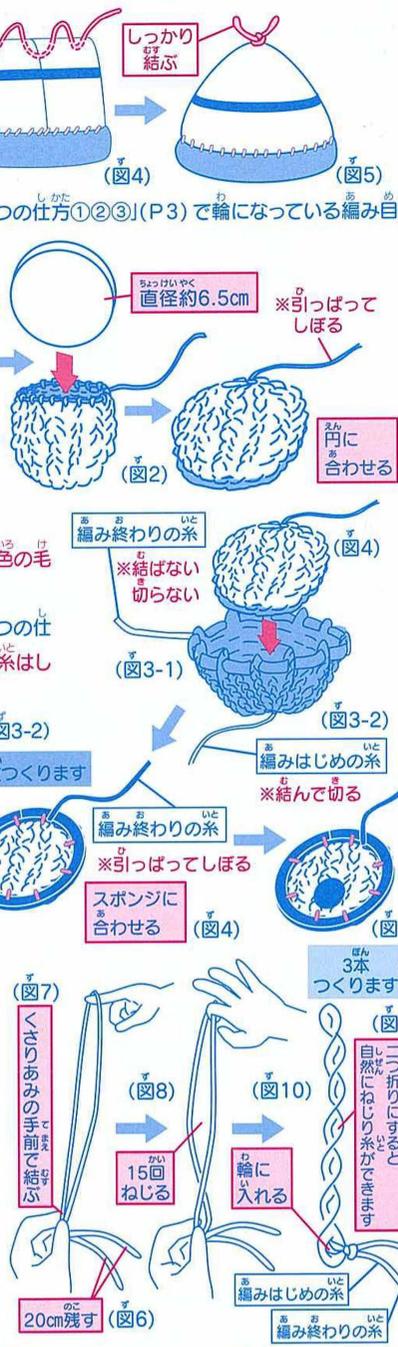


ニット帽のゴーグルの作り方

- ① うすいスポンジや厚紙などで直径約6.5cmの円を2枚用意しておきます。
- ② ダイヤルを輪あみにセットして、白い毛糸で13段編みます。
- ③ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「輪あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P3)で輪になっている編み目に1周糸を通します。残り糸はしぼらず残します。(図1-1)
- ④ 編みはじめの糸は「しぼる場合①～⑤」(P4)の方法でしまつまず。(図1-2)
- ⑤ 編み地に①で用意した円を入れます。円に沿うように形を整え、編み終わりの糸をしぼります。残った糸は結んで中へ入れます。(図2)
- ⑥ 次に、ゴーグルのふちを作ります。ダイヤルを輪あみにセットして黒色の毛糸で、12段編みます。
- ⑦ 編み地を本体からはずして、1段ほどき「輪あみの編み終わりのしまつの仕方①②③」(P3)で輪になっている編み目に1周糸を通します。残り糸はしぼらず残します。(図3-1)
- ⑧ 編みはじめの糸は「しぼる場合①～⑤」(P4)の方法でしまつまず。(図3-2)
- ⑨ ⑤の白い編み地を(図4)のように黒い編み地に入れ、ゴーグルのふち(幅約1cm)になるように整え白い編み地に縫い付けます。
- ⑩ 黒のフェルトで直径2cmの目玉をつくり、貼り付けます。(図5)
- ⑪ 目を貼り付けたゴーグルをニット帽本体の黒いベルトの真ん中に2枚を並べて周りを縫い付けます。

ニット帽の髪の毛の作り方

- ① 編みはじめに、20cm糸を残し、黒色の毛糸で50目くさりあみを作ります。編み終わりも20cm残します。(図6)
- ② くさりあみを二つ折りにして、両端に残った糸をくさりあみの手前で結びます。(図7)
- ③ 結び目を指でつまんで固定し、反対側の輪にゆびを入れて15回ねじります。(図8)
- ④ ねじり終わったくさりあみの糸をねじったまま二つ折りにします。自然に太いねじり糸になります。(図9) ねじり糸の最後の輪に編みはじめの結び目を入れます。(図10)
- ⑤ 同じものを3本つくり、ニット帽のてっぺんに編みはじめ、編み終わりの糸で縫い付けます。



用意する物

- 毛糸 (黄色・青色・黒)
- フェルト (黒・白)
- 毛糸針
- ☆その他…●ボンド ●はさみ

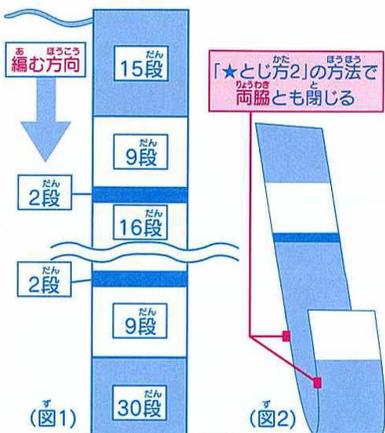
※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

小物入れ本体の作り方

① ダイヤルを平あみにセットして、青色15段→黄色9段→黒2段→黄色16段→黒2段→黄色9段→青色30段→黄色10段編みます。

② 編み地を本体からはずして、1段ほどき「平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方」(P5)でしまつします。残り糸は結ばず残します。

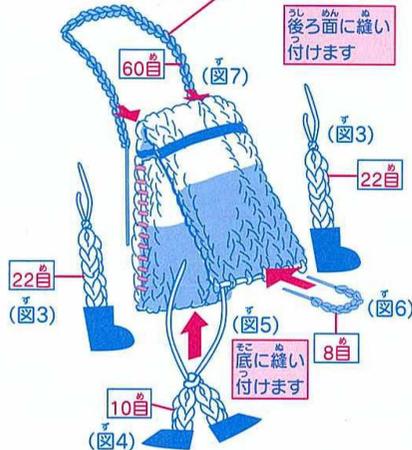
③ (図1)の赤い点線のところをたたみ、両方の側面をそれぞれ「★とじ方2」(P11)で閉じます。(図2)



「★とじ方2」の方法で両脇とも閉じる



後ろ面に縫い付けます



本体に付ける手・足・髪の毛・ひも止めパーツ・ゴーグルの作り方

- ① まず、黄色の毛糸で手・足をつくります。それぞれさりあみで手は22目(二つ折り)足は10目(二つ折り)で編みます。手・足の作り方(P7)を参考にしてください。
- ② ひもと止めパーツをさりあみでつくります。ひもは黄色の毛糸で60目、ふたの止めパーツは青色の毛糸で8目編みます。さりあみの編みはじめ、編み終わりはそれぞれ20cm残します。
- ③ ゴーグルと手・足・口・白目・黒目・髪はケビンのフェルトパーツ(P14)の型紙を使ってつくってください。

手・足などのつけ方

- ① 手を本体の両側に残り糸で縫い付けます。(図3)
 - ② 足は、まず2本の残り糸を結んで(図4)から、本体の底に縫い付けます。(図5)
 - ③ 止めパーツは、編みはじめと編み終わりの毛糸を表から裏へ通し、裏に縫い付けてから裏で結びます。(図6)
 - ④ ひもは本体の後ろ面へ縫い付けます。縫い付け位置は脇から1cmのゴーグルのベルトのすぐ上から縫い付けはじめます。縫い付ける長さは約3cmです。(図7)
 - ⑤ 髪はケビンのつけ方と同じです。(P8)
 - ⑥ ゴーグルはベルトの中心に、グルーマークは胸に貼り付けます。
- ※ 小物入れのフェルトは、セット内容には含まれていません。フェルトパーツ(P14)の型紙からつくりましょう。

マフラーの作り方

用意する物

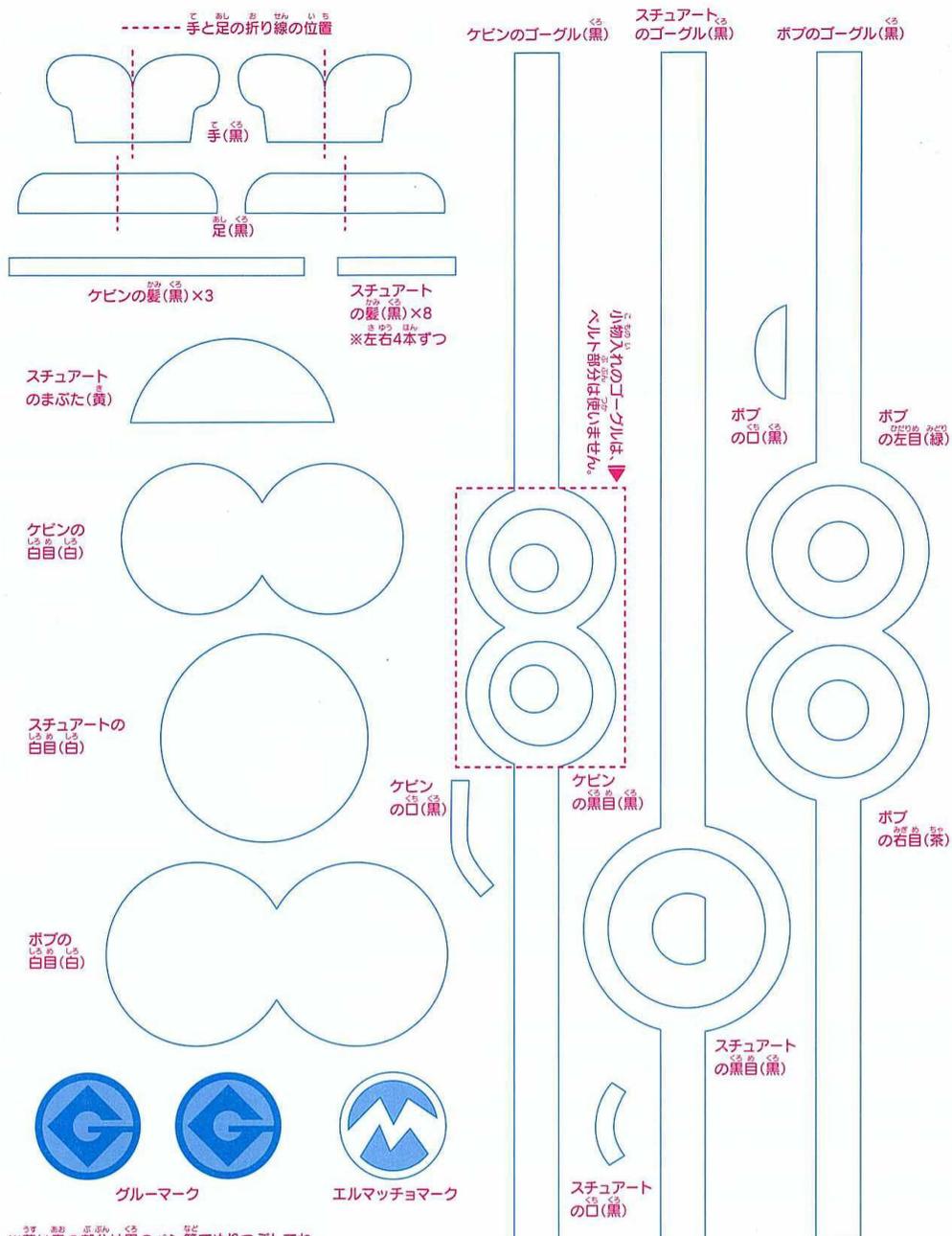
- 毛糸 (黄色・青色)
- 毛糸針

- ① 青色と黄色のしまもようのマフラーをつくります。
- ② ダイヤルを平あみにセットして黄色20段、青色9段のしまを12回くりかえします。約115cmのマフラーができます。
- ③ 編み終わったら、「平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方」(P5)で残り糸をしまつします。

※お好みで黄色と青色の段数をアレンジしてみてください。

ミニオンあみぐるみマスコットで使用するフェルトパーツの型紙です。

この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分に注意してください。イーブルミニオンの目はスクウェアの型を使用してください。小物入れの髪・顔パーツはケビンの型を使用してください。



※薄い青の部分は黒のペン等でぬりつぶしてね。
※グルーマークとエルマッコマークはカラーコピーして、はさみで切り取って使ってね!